

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や
楽しい話題、イベントなどの身近な
情報をお待ちしています。

▷ 問い合わせ 広報情報係
(☎223-3569)

町民の安全・安心のために

1月8日 令和5年遠賀郡消防合同出初式

芦屋町総合運動公園のグラウンドで遠賀郡4町の消防団員と遠賀郡消防本部、航空自衛隊芦屋基地消防班が参加して合同出初式が行われました。芦屋町からは守田政孝団長以下65人が参加し、式典では消防活動に貢献のあった団員や団の表彰が行われ、その後祝賀放水が行われました。

- 消防庁長官表彰／永年勤続章＝浅井和生
- 日本消防協会表彰／精績章＝山内 誠
- 福岡県知事表彰／50年勤続＝湊 寛。20年勤続＝平野典利、入江貴大、西山勝之
- 福岡県消防協会表彰／永年勤続表彰 30年勤続＝藤野浩。25年勤続＝安高勝弘、執行浩一。20年勤続＝平野典利、入江貴大、西山勝之。15年勤続＝牧元 聡志、貝掛 俊之、中西康晴。10年勤続＝中西 徹、重岡裕馬、上四元彰吾、添田良平。優良団員表彰＝安光哲也。遠賀支部長表彰＝魚住一広、志垣拓哉
- 団長表彰＝竹岡裕太、中西智昭、木下達貴（敬称略）



△左＝玉井家子孫、玉井行人さん
右＝杉山家子孫、杉山満丸さん



えにし つな 芦屋町を軸に不思議な縁で繋がった3家を紹介

1月11日～5月7日 芦屋歴史の里特別展
「玉井家・吉田家・杉山家～人の望みと喜びと～」

芦屋町にゆかりがあり、幕末以降、政財界や社会で活躍した人物を輩出した、玉井家・吉田家・杉山家の3家の不思議な縁を紹介する特別展が開催中です。開催初日には子孫の玉井行人さん（ギラヴァンツ北九州会長）と杉山満丸さん（作家・評論家）が来場し、報道陣の取材に答えました。玉井さんは、かつて新聞記者として故吉田敬太郎氏（最後の若松市長）にあいさつした時のことや、いとこの故中村哲氏（アフガニスタンで人道支援に尽力した医師）の「困っている人がいたら助ける」という倫理観のことなどを語りました。杉山さんは、インドの緑化活動に尽力した父、故杉山龍丸氏の国際的活動が、中村哲氏へ多大な影響を与えた接点などを話してくれました。



会場には、3家の歴史と芦屋町とのつながりを一緒に振り返ることができる資料、約200点が展示されています。特別展は5月7日回まで開催しています。

今年の無病息災を願って

1月11日 若葉保育所 鏡開き

若葉保育所の年中・年長児が鏡開きを行いました。先生から、鏡餅は割るのではなく開くと言うことや、代々家が繁栄するように餅にだいたいの実を乗せるという説明を聞いた後、子どもたちは「固い!」「手が痛い!」と言いながら順番に木槌で餅を叩いていました。



昔の人たちはこんな生活をしていたんだね

1月25日・27日 山鹿小学校区祖父母学級×山鹿小学校1・3年生

山鹿小学校区祖父母学級が「楽しく学び、より深い社会性を身につける」ことを目的とし、山鹿小学校1・3年生を対象に「昔の遊び」「昔の生活」を教える教室を開きました。ゴム飛びや福笑いなどを一緒に楽しみ、洗濯板の使い方など実演しました。講師の松本るり子さんと三友和子さんから「昔は、料理をする前に火をおこすところから始めていた」などの話を聞き、子どもたちは「昔の人の生活はとても大変だったことがわかった」と感想を話していました。



世界に一つしかない古印をつくろう

1月18日～3月7日 古印づくり体験

町内の小学6年生と中学3年生を対象に錫の古印づくり体験が行われました。講師は芦屋鋳物師の樋口陽介さん。芦屋釜が生まれた芦屋ならではの取り組みです。子どもたちは専用の鋳型に溶けた錫を丁寧に流し込みました。鋳型を外し古印が出てきたときには「おー!」という歓声が。子どもたちは「鋳物師の人たちが大変な作業をしていたんだとわかりました」などの感想を話してくれました。



雪が降ってもげんきいっぱい

1月24日・25日 氷点下3℃の芦屋町

全国的な大寒波到来で、町にも雪が降りました。珍しく降る雪に子どもたちは大喜び。半ズボンで走り回ったり、雪玉を投げたりと元気いっぱいでした。芦屋釜の里の庭園も雪景色で、ししおどしの水は凍っていました。